

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小谷野豚モツ鍋開発事業
事業主体 (連絡先)	小谷村野豚生産者組合 北安曇郡小谷村大字中小谷丙131
事業区分	(6) オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	932,531円 (うち支援金: 607,000円)

事業内容

小谷野豚1頭あたりの収益性を向上させ畜産農家の所得向上を図ることを目的とし、新たに豚の内臓肉を使い商品化を図るとともに、チラシ等作成により小谷野豚の知名度向上を図る。

- ・試作品の作成：5月～12月
- ・チラシ作製：12月
- ・市場調査実施：12～2月

事業効果

- ①6次産業化プランナー様やセントラルフーズ様の協力により野豚のモツ煮込みの試作品が完成した。
- ②新たに1名の野豚生産者が増え、若い感覚で試作品の開発から携わってもらえることができた。
- ③OEM製造により商品化したモツ煮込みの販売試験を地域道の駅にて行った結果、設定した金額での販売が確認された。正式に販売を開始すれば夏季の観光需要拡大時に売れることが予想され、所得の拡大が図られる。1農家あたり5.6万円(14%向上)

今後の取り組み

小谷野豚のモツ煮込みを正式に商品化し、地域道の駅を中心に平成28年度販売を開始する。また、更なる農家所得の向上に向け、野豚のオーナー制度の実施や、小谷村ふるさと納税の返礼品として商品提供など、新たなアイデアをもとに活動を継続していく。



【しあわせ信州食品開発センターにて試作実施】

【目標・ねらい】

- ①野豚モツ商品の試作
- ②生産者の増加
- ③畜産農家所得の向上
- ④小谷野豚の知名度向上

※自己評価【B】

【理由】

- ・試作品が完成し、販売試験を行った結果、所得向上につながる事が確認できた。
- ・生産農家が1名増加
- ・小谷野豚の商品が増えたことにより、観光客へのPR効果が高まった。
- ・今回の成功体験により、新たな取り組みへの意欲向上へつながった。